

(カテーテルアブレーション)

説明医師

説明看護師(外来)

様へ

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	治療前日	当日 (治療前)	当日 (治療後)	治療後 1 日目	退院日
目標	治療のための準備ができる 不安なく治療を受けることができる		胸痛がない 安静が守れる 38℃以上の発熱がない 穿刺部の異常(出血、発赤、腫れ)がない		退院後 生活上の 注意点が言える
検査			治療後 心電図検査を 行います		
食事	指示食となります (経食道超音波検査が ある場合、昼食はあり ません)	治療の開始時間により □絶食になります (朝・昼) □軽食になります (朝・昼) □いつも通り食事を 済ませてください 水分摂取は()時まで です	覚醒後より飲食可能 です	指示食となります	朝食後、退院できます
	朝食は 自宅で	看護師が説明 します	看護師が説明 します		
処置・観察	体温、脈拍、血圧、 酸素飽和度を 測ります 心電図モニターを 装着します 穿刺部位(両大腿) 毛剃りを行います リストバンドを 装着します(退院日まで 装着します)	早朝、治療前に 体温、脈拍、血圧、 酸素飽和度を 測ります 尿の管を入れます 午前・午後 時から治療が 始まります 点滴の針を入れます (経食道超音波検査が ある場合は治療前日に いれます)	体温、脈拍、血圧、 酸素飽和度を 1~2時間ごとに 測ります	体温、脈拍、血圧、 酸素飽和度を 測ります 尿の管を抜きます 朝に医師が穿刺部位 の確認をし、止血帯を 外します	体温、脈拍、血圧、 酸素飽和度を 測ります 異常がなければ 心電図モニターを はずします 点滴の管を抜きます 退院時、リストバンド を外します
	持参薬、お薬 手帳を看護師に お渡しください	普段の薬は、治療 前の指示に従っ て内服して ください	点滴がついたまま 病室に戻ります 点滴終了後も 管は抜かずに 残します		容態により 退院後のお薬が 出ます
行動	病棟内で 過してください シャワー、洗髪 をしてください 	治療前にトイレ を済ませ化粧を とり、入れ歯、さ し歯、時計アクセ サリー、眼鏡を外 してください 検査着に着替え てください 車椅子で治療室 に行きます	ベッドで部屋に 戻ります治療した側 の足は曲げないでく ださい 翌朝まで床上 安静になります 帰室3時間後から、 医師の指示で介助の もと体の向きを変え ることができます	看護師が体を拭 き、着替えをお 手伝いします 穿刺部位の 確認後、トイレ まで歩行が できます	穿刺部位の確認 後、制限ありませ ん 退院後、 入浴できます
	医師より説明 ・入院後の検査や 治療計画に ついて 看護師より説明 ・入院生活について ・治療前後の処置や 安静について 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		医師より説明 ・治療結果と 今後の治療計画 について (治療当日又は翌日) 看護師より説明 ・治療後の安静 について	医師より説明 ・退院について	看護師より説明 ・退院後の療養に ついて

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。